



2024年1月31日

コスモエネルギーホールディングス株式会社

ダボス会議のアフィリエイト プログラム セッションに
当社 CDO がパネリストとして登壇

スイス ダボスにて開催された世界経済フォーラムの年次総会（通称：ダボス会議）において、コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂、以下「当社」）の常務執行役員 CDO ルゾンカ典子が、現地時間 1 月 17 日(水)に行われた Cognite 社主催のアフィリエイト プログラム セッション “Trustworthy Generative AI for Autonomous Industry. (装置産業に必要な信頼価値の高い生成 AI とは)” にパネリストとして登壇しました。

これは、産業用ソフトウェアの世界的なリーダーである Cognite 社がダボス会場にて開催したもので、ルゾンカのほか、Aker BP の CDO Paula Doyle 氏、Kyoto グループの CEO Camilla Nilsson 氏、Cognite の共同創業者兼 CSO である John Markus Lervik 氏が AI の信頼性や社会的影響、また各分野における実装実例や課題について議論しました。

当社グループは、2023 年から、石油・石油化学事業における収益力と競争力確保のため、コスモ石油株式会社（代表取締役社長：鈴木 康公）および丸善石油化学株式会社（代表取締役社長：馬場 稔温）にデータプラットフォーム基盤として「Cognite Data Fusion®」を採用しており、セッションの中でルゾンカは、当社グループがめざす「生成 AI によるデジタルツイン構想」などの取り組みを紹介し、「当初はどこから手を付けて良いか分からなかったが、変革に意欲のある人を中心に取り組みを進めている」という点に言及するとともに、生成 AI をどのように事業成長に生かしていくかとの問いに対し、「製油所や工場でのノウハウ継承は、通常は時間がかかる上に守りの視点が中心となるが、AI を用いることで年単位での時間短縮を実現でき、さらに攻めの姿勢に変えることができる」と語りました。

当社は、企業価値向上のため、[Vision 2030](#)「未来を変えるエネルギー、社会を支えるエネルギー、新たな価値を創造する。」を掲げ、グリーン電力サプライチェーン強化、次世代エネルギー拡大、石油事業の競争力強化/低炭素化の実現に取り組んでいます。また、第 7 次連結中期経営計画『Oil & New ~Next Stage~』における経営基盤変革の 3 本柱（HRX, DX, GX）のひとつとして DX を位置づけ、Digital Capability と Change Management によるビジネスモデル変革をルゾンカのリーダーシップの下、積極的に取り組んでいます。

なお、同イベントは、Cognite 社の HP にて収録ビデオ（英語のみ）をご覧ください。

<https://www.cognite.com/en/webinars/trustworthy-generative-ai-for-autonomous-industry-cognite-customer-panel>



（左から、John Markus Lervik 氏、Paula Doyle 氏、ルゾンカ典子、Camilla Nilsson 氏）

参考情報：デジタルツイン構想紹介ビデオ

<https://www.youtube.com/watch?v=0-fGFLJjd8>

以上